

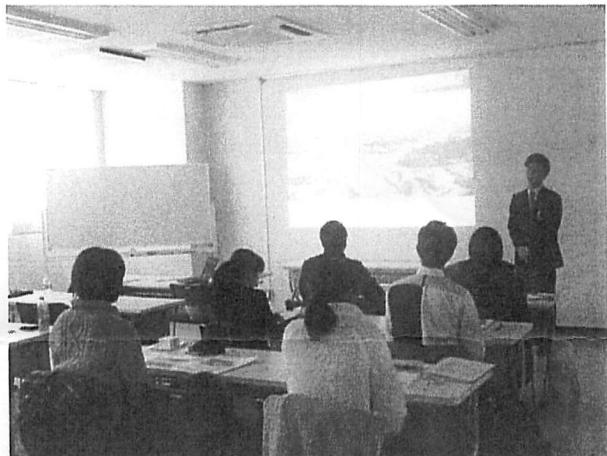
日船工、高知大学2キャンパスで「舶用工業説明会」を実施

今年度で2回目

日本舶用工業会(日船工)は2月15日、人材確保対策事業の一環として、高知大学・朝倉キャンパス、16日に同大学・物部キャンパスにおいて、今年度で2回目となる「舶用工業説明会」を実施した。

昨年度は朝倉キャンパスの理学部(17年度より理学部から理工学部へ改組)を対象に実施したが、今年度は大学からの要請を受け、物部キャンパスの農林海洋科学部を追加。同大学・学務部学生支援課就職室との共催で、同就職室の立花裕氏、海洋コア総合研究センター専任・理工学部兼任の岩井雅夫教授等の協力の下、両学部の3年生及び大学院生等を対象に実施した。

15日は、冒頭、事務局より、舶用業界の現状と今後の動向について紹介し、続いて、渦潮電機の土居拓海氏(人事教育課担当)、SKKの森山万里子氏(管理部部長代理)、シンコーの平川智一氏(人事課課長)、ダイハツディーゼルの横原雄也氏(管理統括部人事担当)より、自社の概要や製品、仕事内容等についての講演が行われた。16日は、事務局のほか、シンコーとダイハツディーゼルの2社が講演を行った。



説明会の様子

参加学生数は両日合わせて10人程度と少なかったものの、講演者の熱のこもった説明に耳を傾け、質疑応答では、予定時間を超過しているにもかかわらず、「女性活躍社会の推進が議論される中で女性が活躍できるフィールドはあるか」、「世界を相手にビジネスを展開していることがよく分かったが、社内の英語研修等はあるか」等、積極的に質問する姿が見受けられるなど、説明会は成功裏に終了した。

説明会終了後には、同大学の教授陣と会員企業講師等との懇談会を実施し、舶用業界の将来展望や近年の学生の就職動向等について情報・意見交換を行った。

関東地方整備局、あす第18回京浜港物流高度化推進協議会

国土交通省関東地方整備局はあす(7日)、第18回京浜港物流高度化推進協議会(委員長:中田信哉 神奈川大学名誉教授)を開催する。同協議会は2006年の設置。京浜港における港湾物流の効率化・高度化を図るために「京浜港物流高

度化行動計画」を策定し、さまざまな官民協働の取り組みを実施している。

▽日時:3月7日(水)15時30分~17時30分

▽場所:横浜第2合同庁舎 14階